

ボツワナ共和国月報(2024年5月)

主な出来事

【内政】

- 憲法改正案の議会審議開始
- 予備選及び総選挙の注目選挙区
- 与党BDPの予備選挙の見通し
- カーマ前大統領のパラマウントチーフの地位に疑義
- バカタ族のパラマウントチーフ、カフェラⅡ、2030年までの帰国を宣言
- BPS、中国人3人に対する詐欺容疑を捜査

【外政】

- マシシ大統領、米国を訪問
- 各国大使、マシシ大統領に信任状を捧呈
- ツォフワネ副大統領、KAZA首脳会合に出席
- ディコロティ保健大臣、第77回世界保健総会(WHA77)議長に就任
- オーストラリアから家畜が到着

【経済】

- 人間開発報告書(HDR)2023-24年版、ローンチイベントの開催
- 干ばつによる影響①-農業・観光に甚大な被害-
- 干ばつによる影響②-穀物調達を巡る政府の動き-
- カフェラ貿易相、AGOA延長に意欲
- 国内唯一の金鉱山が閉鎖の危機
- 国家養蜂戦略の発表
- サイバーセキュリティ法案-フェイク投稿等に対する罰則の法制化へ-
- エアー・ボツワナ、ジェット機を新たに調達
- IMFによるボツワナの経済成長見通し-2024年の見通しは前回見通しより下方修正-
- 4月インフレ率は3.1%-前月より0.2%上昇-
- 3月の国際商品貿易統計-6か月連続の貿易赤字-

【内政】

○ 憲法改正案の議会審議開始

20日、首長会議を通過した憲法改正案(4月19日に、5月3日までの日程で首長会議に付託されたもの)は、国民議会の特別会期で30日間前後かけて審査されると発表された。副議長によると、改正案は最終的に国民投票に付される。

○ 予備選及び総選挙の注目選挙区

4月の与党ボツワナ民主党(BDP)予備選選挙名簿の公表を受け、注目される5つの選挙区として、①ンマディナレ選挙区(ケフェンツェ・ムズウィニラ国土・水大臣とモレバツィ・モレバツィ議員(現職)の争い)、②グッドホープ・マテテ選挙区(ペギー・セラメ財務大臣とエドウィン・ディコロティ保健大臣の争い)、③カニエ東選挙区(現職のタペロ・レソロ議員と元MPかつ元BDP事務総長のケンツェ・ランミディ氏の争い)、④マハラペ西選挙区(ジョゼフ・モレフェ元議員とバーナード・ボレレ元議員の争い)、⑤ハボローネ北選挙区があげられる。

一方、ツオフワネ副大統領は、予備選を免れたものの、前回総選挙において、得票数第2位の民主改革のためのアンブレラ(UDC)の候補と僅か約300票差であったこと、更に第3位の革新連合党(AP)候補が約350票を獲得しており、現在UDC傘下にAPがいることから、本年の総選挙でも野党候補と接戦になると報じられている。

○ 与党BDPの予備選挙の見通し

マシシ大統領は29日のプレスブリーフにおいて、与党BDPは更なる候補者審査を続けており、予備選は6月末、又は遅くとも7月の第1週になるとの見通しを示した。

○ カーマ前大統領のパラマウントチーフの地位に疑義

カーマ前大統領は、自らのバングワト族のパーマネントチーフの摂政を現在のセロゴラ・セレツェ氏から、セレツェ・ピーター・カーマ氏に変更したが、政府は法廷にて同前大統領には摂政任命適格がないと主張した。アウトウェツィ地方自治大臣は、前大統領は手続きの不備により法的にはパラマウントチーフと認められないと述べた。

○ バカタ族のパラマウントチーフ、カフェラ2世、2030年までの帰国を宣言

11日、ボツワナと南アにまたがる領土を持つバカタ族のパラマウントチーフ、カフェラ2世(ムシ・カフェラ貿易産業大臣の実兄)は、部族の公式イベントにオンラインで参加し、2030年までにボツワナに戻る意向を明らかにした。同氏は、ボツワナにおける部族長の法制度への不満から、部族の南ア側の領土に本拠地を置き、長く逃亡生活を送っている。

○ BPS、中国人3人に対する詐欺容疑を捜査

ボツワナ警察(BPS)は、ボツワナ人から最大1億プラ(日本円で約11億円)をだまし取ったとして、中国人3人を捜査している。同3人は国外に逃亡した後、中国に潜伏していると報じられており、BPSは裁判に向け外交ルートを通じて中国に身柄引渡しを要請している。また、警視総監によると別の2人の中国人が同種の詐欺容疑で逮捕された他、35人が関与を認めている。

【外政】

○ マシシ大統領、米国を訪問

4月28日～5月13日、マシシ大統領は米国を訪問した。マサチューセッツ工科大学(MIT) Legatum開発と起業センターでの会議にて基調講演を行った後、ニューヨークにてGlobal Citizen Now Summitに出席する傍ら、デイビス・バハマ国首相と首脳会談を行った。また、6日からは、テキサス州ダラスにて、米・アフリカ・ビジネス・サミットに参加した。

○ 各国大使、マシシ大統領に信任状を捧呈

21日、オランダ、デンマーク、タンザニア、韓国、ジャマイカの大使がマシシ大統領を表敬し、信任状を捧呈した。

○ ツオフワネ副大統領、KAZA首脳会合に出席

31日、ツオフワネ副大統領はザンビアで開催されたカバンゴ・ザンベジ国境周辺の自然保護地域(KAZA-TCFA)首脳会合に参加した。本会合は、2011年にKAZA TFCA条約が署名されて以降初の首脳会合であり、「生物地理学的地域の包括的な社会経済発展の触媒として、KAZAの自然資本と文化遺産資源を活用する」というテーマで開催された。

○ デイコロティ保健大臣、第77回世界保健総会(WHA77)議長に就任

27日～6月1日、デイコロティ保健大臣はジュネーブで開催された第77回世界保健総会に参加し、27日付で第77回世界保健総会議長(任期1年)に就任した。同会合では、将来のパンデミックの予防・準備・対応や気候変動等、保健分野に関する様々な協議が行われた。

○ オーストラリアから家畜が到着

14日、家畜の遺伝的改善と規模拡大のため、オーストラリアから購入した94頭の繁殖用牛と150頭のヤギ(乳用種)がボツワナに到着した。これらの家畜は、ボツワナにおける家畜の増加と遺伝的メリットの向上という政府方針の達成に貢献するものであり、畜産部門の持続可能な発展と輸出主導型産業の促進に向けた取組である。マシシ大統領は、演説で、「Thuo Letlotlo」(本年4月にマシシ大統領が開始した、畜産を輸出主導セクターに転換・発展させるための、商業志向の総合的なアウトプット・プログラム)に触れ、遺伝子的に優れた家畜を輸入することで、同プログラムがより大きな目標を達成できるようになる、と述べた。

【経済】

○ 国連人間開発報告書(HDR)2023-24年版、ローンチイベントの開催

15日、国連開発計画(UNDP)ボツワナ事務所主催にて、人間開発報告書2023-24年

度版の報告会が行われ、クワペ外務大臣、政府及び民間関係者等が出席した。同報告書によると、ボツワナの人間開発指数(HDI)は、コロナ禍以前(2019年)の0.703から2022年に0.708へとわずかに改善されたが、世界ランキングでは114位であった。クワペ大臣は、ボツワナは国連と緊密に協力し、「ボツワナ・国連持続可能な開発協力枠組」を通じて、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」及び「VISION2036」(2036年までのボツワナの長期開発戦略)を実施している旨述べた。その他、ボツワナが直面する課題として、経済多角化、不平等・男女格差、気候変動や干ばつなどの環境上の脅威についても報告がなされた。

○干ばつによる影響①-農業・観光に甚大な被害-

ボテティ川(ボツワナ北西部のオカバンゴ・デルタから中央部に流れる河川)の一部を構成するチャノガ水路が干上がり、野生動物、家畜、農産物に被害が発生している。この地域で農業及び観光業に従事する住民への経済的被害も深刻であり、地元有力者は、政府によるボーリング孔の掘削を継続する予算の確保を求めている。

○干ばつによる影響②-穀物調達を巡る政府の動き-

政府は、エルニーニョ現象による干ばつによる食糧不足に対応するため、豪州及びブラジルからメイズ及びソルガムの輸入に向けた供給元の開拓を進めている。

○カフェラ貿易相、AGOA延長に意欲

米テキサス州での米・アフリカ・ビジネス・サミットに参加中のカフェラ貿易・産業大臣は、2025年で失効するアフリカ成長機会法(AGOA)の延長に意欲を示した。

○国内唯一の金鉱山が閉鎖の危機

ボツワナ唯一の金鉱山会社であるムパネ鉱山は、5,000万プラ近い負債を抱えており、破産整理の危機に直面している。

○国家養蜂戦略の発表

農業省はFAOと共同で、2022年から2027年までの国家養蜂戦略を発表した。この計画は、科学的研究に基づいた現実的なロードマップであり、持続可能な養蜂を推進するため、養蜂専門家を結集し、定量的な目標や具体的な取組を取りまとめた。

○サイバーセキュリティ法案-フェイク投稿等に対する罰則の法制化へ-

政府は、サイバー空間での恐喝やSNS上の有害な偽プロフィール掲載を含むサイバー犯罪に対する罰則(罰金刑、懲役刑)を付した国内初のサイバーセキュリティ法案の国民議会提出に向け関係機関、専門家及び利害関係者との調整を進めている。

○エアール・ボツワナ、ジェット機を新たに調達

29日、国営エアール・ボツワナのラセボツァCEOは、新たにブラジルの航空機メーカー大手のエンブラエル社製ジェット旅客機3機を新たに調達し、更に4機目の購入も視野に入れていることを発表した。

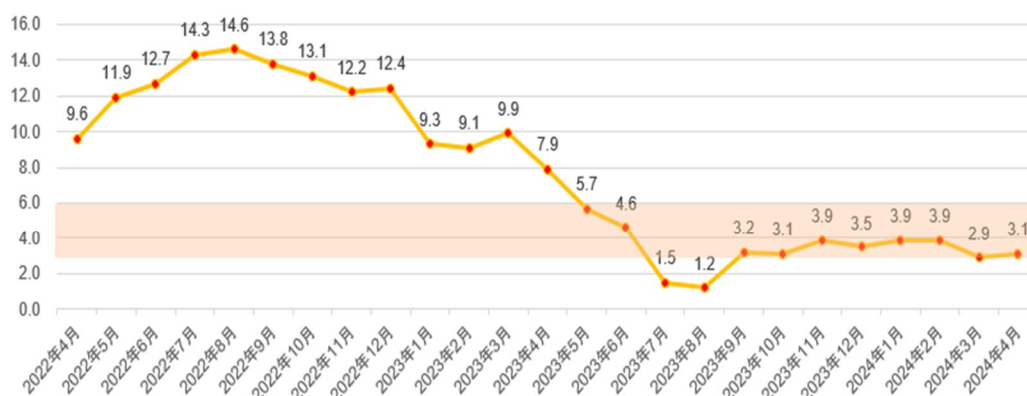
○IMFによるボツワナの経済成長見通し-2024年の見通しは前回見通しより下方修正-

	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年
今回(2024年4月)	3.245%	3.574%	4.593%	4.011%	3.992%
前回(2023年10月)	3.841%	4.11%	4.349%	4.026%	3.987%

○4月インフレ率は3.1%-前月より0.2%上昇-

4月の年間インフレ率(前年同月比)は3.1%となり、前月のインフレ率(同)の2.9%から0.2%上昇した。分野別寄与度は、上位から雑貨・サービス(0.8%)、運輸(0.7%)、食品・非アルコール飲料(0.6%)であった。

(図:近年のインフレ率の推移)

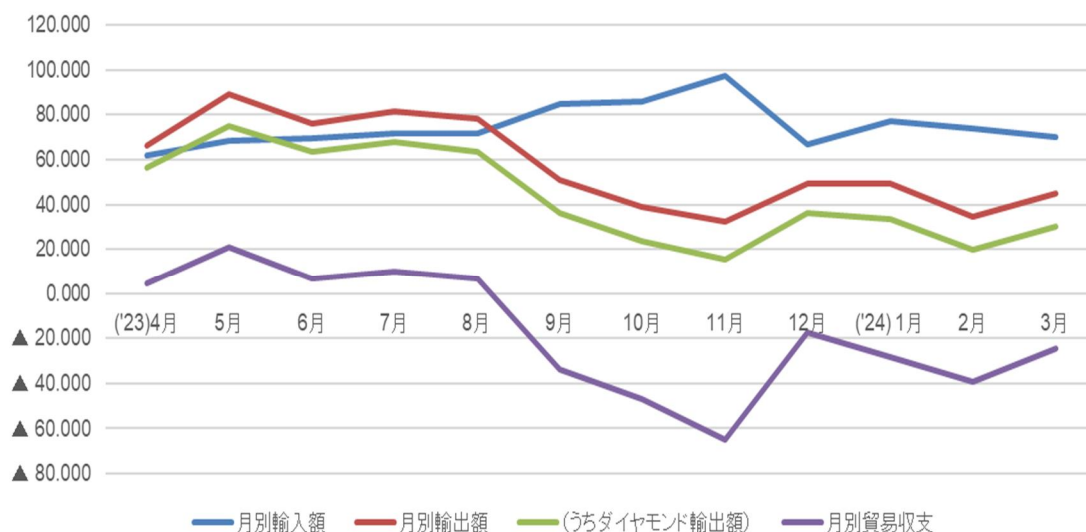


注: ボツワナ銀行中長期インフレ目標 (3%から6%)

○3月の国際商品貿易統計-6か月連続の貿易赤字-

3月の輸入総額は69.910億プラとなり、前月の74.200億プラ(改定値)から5.8%減少し、輸出総額は、45.185億プラとなり、前月の34.708億プラ(改定値)から30.2%増加した。輸出総額については、ダイヤモンドと銅がそれぞれ総額の67.1%及び17.0%を占め、特にダイヤモンドの輸出額が前月比で51.4%増加したことによる。しかしながら、当月の貿易収支は24.725億プラの赤字となり、結果、昨年9月以来、7か月連続の赤字となった。

(図: 月別貿易収支の推移: 2023年4月から2024年3月)



	('23)4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	('24)1月	2月	3月
月別輸入額	62,159	68,419	69,480	71,726	71,990	84,713	85,976	97,377	66,857	77,337	74,200	69,910
月別輸出額	66,363	89,226	75,967	81,598	78,498	50,938	39,134	32,431	49,448	49,138	34,708	45,185
(うちダイヤモンド輸出額)	56,203	75,312	63,680	67,674	63,615	35,999	23,870	15,282	36,332	33,484	20,019	30,307
月別貿易収支	4,204	20,807	6,487	9,872	6,508	▲33,775	▲46,843	▲64,946	▲17,409	▲28,199	▲39,492	▲24,725

注)2024年3月は速報値

(参考) 分野別内訳: 上位5分野(%)

	1位	2位	3位	4位	5位
輸入	燃料19.1	ダイヤモンド17.5	食料品等15.9	機械・電機13.9	化学・ゴム製品10.5
輸出	ダイヤモンド67.1	銅 17.0	機械・電機5.1	塩・ソーダ灰2.8	生牛1.1

(参考) 国別内訳: 上位5か国(%)

	1位	2位	3位	4位	5位
輸入	南ア 62.8	ナミビア 15.0	カナダ 5.5	中国 4.5	ドイツ 1.6
輸出	UAE 28.6	インド 18.1	南ア 12.7	ベルギー 11.3	中国 8.6

(了)